

## 地方議会研究ホームページ in 尾道の受講についての報告

### 真の二元代表制実現の方途 「幸田 雅治」

地方議員の変革なくして国の改革なしと言う基本理念のもと議決事件について①議員間で討議を重ね②執行者を監視し是正または代案を提示すること。③日本にはないが、シャトル審議の必要性もあるとの提言であった。

議員間討議と地方の議会変革に二元代表制の重要性、市民のニーズをしっかりと受け止めること議会事務局の人事権を握り、加えてより理論的にするため専門家の意見を聞くことであるということをした。

### 議会改革における課題と対応「廣瀬 和彦」

選挙による議長・副議長の選出は、議会の方向性を決める重要なものであることを説かれた。通年議会導入に当たっての留意点をあげ、専決処分を減少できるがデメリットも多いで解決策を考慮して導入することとの提言であった。

通年議会に対しては、メリット・デメリットからどちらともいえないと思った。

### 人口減少社会における議会の役割と課題「牛山 久仁彦」

議会は民意を明確化し、砦となるべきである。民意の集約が基本である。従って

- ①高齢者が住みよいまちづくり
- ②政策提案
- ③行政チェック を行ってこそ議会は明確化する。と言う趣旨の講義内容であった。

## 質疑応答

### 北川議員の発言

議決事件の拡大については、議会の力をつけるために必要であると考えており重要なこととして考えている。議決事件の拡大は、議員の力の向上だけでなく多くの案件に関わることによって市民サイドにより近づくと考えていますが道筋について考えを聞かせていただきたい。

### 講師の発言

議決事件の拡大については、制限されている現状もある。議決事件は、基本構想部分だけでなく、多くの議決事件を形にしていくものであると捉えている。従って議決事件を拡大することは、議会の力をつけることにつながると考える。全自治体地方の将来を考え、未来を変えるまで関わっていただきたい。

地方創生は、地方議員が真剣に考えなければ単なるばらまきにしかならない。少子化対策と言うが、その方策は道筋が明らかになっていないのではないか。限界集落、消滅集落に対する国の施策は見えてこない。こんな思いがした研修であった。少し自分の方向性ができたように思う。

文責田中

議会は民意を明確化し砦となるべきである。